

# もみじ

— 広島県山岳連盟会報 —



一般社団法人 広島県山岳連盟  
〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17  
電話・FAX (082) 296-5597  
E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp  
URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>  
郵便振替口座 01380-6-37958

## 「山の日」制定、来年国会へ提出か

### お盆前を軸に検討

「山の日」制定を目指す超党派の国会議員連盟が 8 月 12 日とする祝日法改正案を来年の通常国会に提出することを決めたことについて、議運に属さない自民党国会議員が、同議運の決定後、「日航ジャンボ機墜落事故と同じ日はいかなものか」として日付の変更を求めたことが分かった。議運側はお盆前を軸に変更を検討する可能性を示している。

議運は 10 月 30 日の総会で年間 16 日ある祝日の増加を望まない経済界などの声を配慮し、お盆の時期に当たる 8 月 12 日を山の日とすることを決めた。これに対して群馬県選出議員 2 名から難色を示す声が寄せられた。

### 8 月 12 日 (日航ジャンボ機墜落事故の日) 反対

8 月 12 日を「山の日」とする祝日法改正案について 1985 年の同日に日航ジャンボ機が墜落した現場がある群馬県の大沢知事は 11 月 6 日の記者会見で「遺族の心情を考えれば見直してほしい」として、反対の意向を示した。「山の日」の制定は森の大切さを認識してもらふ意義があることだ」としたうえで「慰霊祭が毎年行われ (ほかの) 航空事故や鉄道事故の遺族も参加している」と配慮を求めた。(日経・信濃毎日)

## 「山の日」は 8 月 11 日

### 超党派議連が提案へ

超党派の「山の日」制定議員連盟は 11 月 22 日、国会内で総会を開き、8 月 11 日を「山の日」とする祝日法改正案を来年の通常国会に提出する方針を決めた。2015 年からの実現を目指す。

当初は 8 月 12 日としたが、1985 年に起きた日航ジャンボ機墜落事故と同じ日に当たることから、再考していた。(中国)

### 岳連短信



山岳辺境文化セミナー2013・10・19

写真上 「挑戦し続ける想い」講演する竹内洋岳氏

写真提供 小林敏行 (可部山岳会)

## 岳連短信



写真 山岳境界文化セミナー2013・10・19  
広島市西区民文化センターに集まった人たち  
写真提供 小林敏行 (可部山岳会)

## 第 17・18 回 登山教室をおえて

第 17 回 : 9・28～9・29 登山形態 : テント泊縦走

山城 : 瓶ヶ森～石鎚山 人数 : 6 名

第 18 回 : 10・26～10・27 登山形態 : テント泊縦走

山城 : 剣山～三嶺 人数 : 7 名

10 月は昨年、降雪であきらめた剣山ヘリベンジ。1 年時のカリキュラムなので楽勝と思いましたが、結果は……。やはり今回も良い経験が積めたようです。(指導部 森本 覚)

## 稜線歩きの天国と地獄

### 登山教室生 近藤 聡

新生なった登山教室の 2 年目は集大成の年、初めての四国山行はいきなり西日本最高峰の石鎚山と剣山の山行となりました。

9 月の石鎚山は東之川から瓶ヶ森に向かい、翌日に

東稜基部から南尖峰ルートで天狗岳にチャレンジするという登山教室 2 年目ならではの山行。このコースでは縦走の楽しみはありませんが、それ以上に急傾斜のササのスロープと岩場を越えた先の天狗岳を一望した時の感動は得難いものでした。

10 月の山行は剣山～三嶺ルート。初日は台風一過、剣山山頂は風速 15 メートルの強風のためバランスを取るのも苦労するほど。本来羨望のまとの縦走路も、この時期で強風下だとバランスを取るため体力を消耗し、体感温度も下がるため、早く林間の道に逃げ込みたくなる。

白髭で一泊した翌日の三嶺への山行は風も少しおさまり、三嶺直下から天狗塚への縦走路を望んだ時は作日の難行も忘れて、是非とも歩いてみたい思いを強く持ちました。

稜線歩きも天気が良ければルンルン気分ですが、風がある時はひたすら早く抜けるしか頭に思い浮かばないほど、自然の営みを体感した山行でした。



## クライミングスクール

### 基本を意識して練習

#### 第 8 回 (2013・11・10) 三倉岳

#### 松浦 朋宏

会社の同僚とロープを必要とする山行をやりはじめて、ジムでのリードの練習、窓ヶ山でトップロープでのクライミングを同僚とやっていた。知り合いに教えてもらったり、本で勉強をしながらやっていたはいましたが、ロープの扱い手順、安全面での不

安などあり、一から習う必要を感じて本年度のスクールへ申し込みました。

一回目は残念ながら雨で屋内でしたが、エイトノット、クローブヒッチ、ハーネスや装備の付け方、ビレイ、ロープの巻方など基本的な事を教わり、自分がそれまで雑にやっていた事を直す研修会になりました。

二回目以降は天応烏帽子岩山で、岩稜歩き、懸垂下降、トップロープでのクライミングとビレイ、マルチピッチでのビレイ等を行いました。メインロープでのセルフビレーで作業しやすい距離が分からず毎回のよう調整してましたが、この辺は繰り返して経験で覚えるしかないと思いました。

そして三倉岳へ移るのですが雨と体調不良で休んだり、外岩で登れたのは一回だけで最終日も雨。雨のためこれまでの復習と、簡単な試験がありそれで全ての日程が終了しました

私がこのスクールで学びたかった事は、まずは安全、それから効率よい手順やり方でした



写真は研修会の一コマ

経験豊かな講師の方々に細やかな指導を受けることで、何故それがそうなってるのかとか、本ではなかなか分からない事も理屈も含め、理解できる事が多々ありました。

これから習った事が無駄にならないように基本を意識してジムやゲレンデで練習をしていこうと思います。

## 岳連短信

### 1、東京国体報告

成年男子 (榎木 齊藤) ボルダリング 33 位 リード 15 位。齊藤選手が健闘した。中野が出場していれば、リードは決勝進出も可能であった。

成年女子 (武井 池田) ボルダリング 13 位 リード 10 位。選手のモチベーションをいかに高く保っていくか。少女 出場していれば十分入賞可能であった。

### 2、韓国 パルコン サンフェスティバル クライミング大会報告

監督 錦織 選手 錦織瀬奈 山下真由

岳連 杉本 岡谷 豊田 イ・サンギ

錦織君 成年の部 10 位/128 人中

山下さん 成年の部 1 位/54 人中。

韓国の代表選手はワールドカップへ出場中

### 3、低い山も遭難注意

広島県内の身近な山で 9 月下旬遭難が相次いだ。23～26 日廿日市市の冠山で単独行の女性 (67)、29 日広島市安佐北区で男性 (63) を捜索するケースがあった。中高年の登山ブームが高まる中、専門家は確かな技術の習得を呼びかけるとともに「低い山でも油断しないように」呼びかけている。

### 4、半四郎山 (1126m 匹見) の由来

「石見匹見町史」(昭和 40) によると同町の災害史 21 項目の一つとして「広見の遭難事件」(大正 3 年 3 月) として記録されている。匹見の主要高山を恐羅漢山、五里山、岩倉山、春日山、安蔵寺山、燕嶽を挙げており半四郎山、向半四郎山の名前は記されていない。恐らくその後の命名という事だろうか。

大正 3 年 3 月思わぬ大雪のため、この山の山頂付近で半四郎とその子武若 (18 才) の遭難死という、平穏な山里の村人を驚かした大きな事件があった。このことから「半四郎山」と呼ぶようになったといわれている。このことは「西中国山地」(桑原良敏著 昭和 57 淡水社) にも記載されている。

### 5、大山でナラ枯れ確認

中国地方の最高峰、大山 (1729m) で広葉樹のナラ類が枯死するナラ枯れが初めて確認された。鳥取県東部と島根県西部から進行する被害に挟まれる形で、西日本最大のブナ林を中心とした原生林が危機に直面している。

鳥取県など地元の自治体は対策協議会を設け、森林保全に乗り出す。県西部総合事務所などの調査では 8,9 月に県西部で 627 本のナラ枯れを確認した。中で

も大山麓の大山町に 572 本と集中。大山自体では 22 本の枯死が見つかった。

被害拡大に対し、県と大山周辺 8 市町、林野庁鳥取森林管理署などは今月、対策協議会を設置。枯死木の伐採・焼却のほか、切株に粘着シートを貼る拡大防止策などを徹底する。

## 書評

平林克敏著

「熱き心

登山と企業から学んだ私の人生哲学」

平成 10 年 ぱるす出版

仲井正美

この本のサブタイトルにあるように「登山と企業から学んだ私の人生哲学」が 276 頁にわたり「熱き心」で語られている。登山という切り口での自分史という見方もできる。

1970 年に実施されたエベレスト登山計画は隊員 38 名、装備 8 トン、資金 3 億円、日程は登山期間のみで 120 日であったという。

### ロマンを達成する喜び

最初のヒマラヤ登山から日本初のエベレスト登頂、ナムナニ峰日中合同登山を通じて国際交流の実相と考え方、筆者の人生哲学があますところなく語られる。アビ登頂の日の日記に「登ったということ、それは、ただそれだけのことにしか過ぎない。その間に培った、経験と努力と恐るべき時間は、私たちの頭脳と肉体に刻まれ生き続ける事だろう。やがてこの思想は別な思いを育むことになるのである。生きて生活圏に戻ることに、それが登頂なのである」と記している。これが筆者の「熱き心」なのである。

世界最高峰のチョモランマ (英名: エベレスト) に日本人として初登頂。「よく「なぜ命かけてまで無駄なことをするのか」と尋ねられるが、自分の志やロマンを達成する喜びが魅力だ」と講演で話した。

(平林克敏氏は 2000 年 (平成 12) 山岳辺境文化セミナー講師、著書は岳連事務局山岳文庫に在ります。)

俳句 (写真も) 福山山岳会 江種幸男提供



山の風景 36

描場山 (新潟県) (2145m)

2013・10・12 写真提供 森 智昭 (ひこばえ)



### 編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想・写真など気軽にお寄せください。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○各研修会、講習会へ参加された方は積極的に報告書を提出ください。随時掲載いたします。

題字デザイン 今村みずほ 編集 仲井正美